



後夜祭でのパレードドロップ



書道同好会によるメインステージでのパフォーマンス



子ども達を対象とした教育学会主催の教室企画



正門から見える巨大布絵

企画にも挑戦し、OS☆UやBOYS AND MEN、ゆり姫パレールと名古屋を賑わせているアイドルグループにもお越しいただきました。おかげで幅広い世代のお客様に盛り上がり、ただけのステージを運営することができました。さらに、目玉企画「お化け屋敷」では、今年の特典「Waaaaa!!!」と同じように叫んでいた

メインステージでは、女装コンテストなど恒例の企画に加えて、男装コンテストやファッションショーなど新しい企画にも挑戦し、OS☆UやBOYS AND MEN、ゆり姫パレールと名古屋を賑わせているアイドルグループにもお越しいただきました。おかげで幅広い世代のお客様に盛り上がり、ただけのステージを運営することができました。さらに、目玉企画「お化け屋敷」では、今年の特典「Waaaaa!!!」と同じように叫んでいた

長久手キャンパス

今年度は、名鉄バスの開通、新しい正門と広場の完成により、大規模な変更がなされました。そのため、装飾物の表現もリニューアルしました。一つ目が、正門装飾です。バスターミナル付近には20mにも及ぶ横断幕を設置しました。二つ目が構内に入った瞬間に目に入る10m四方の巨大布絵です。この二つの大規模な装飾は、例年に勝る彩りとなりました。そのほかにも、影絵のような壁装飾、モザイクアート、ミニメントなどは圧巻でした。

今年度も多くの方々にご来校いただき、地域の皆様にも愛される淑楓祭に成長していることを実感しています。この結果、2日間で19638人もの来場者数を記録し、大成功をおさめました。

新しい挑戦ができ、例年とは違う淑楓祭



34名の団体が出店した模擬店

第38回淑楓祭に協力していただいた関係者の方々、地域の皆様、団体様、お客様に対して実行委員一同心から感謝申し上げます。

REPORT

レポート

13

大学

第38回淑楓祭

11/2(土)・3(日)

長久手キャンパス・星が丘キャンパス 合同テーマ「Waaaaa!!!」

※両キャンパスの大学祭実行委員長による淑楓祭のレポートです

星が丘キャンパス

今年度の淑楓祭は笑顔のあふれる2日間になりました。星が丘キャンパスにお越しくださったお客様をまず楽しませる巨大階段装飾、あらゆる扉を彩ったスタンディング装飾など、今年度のキャンパステーマである「Waaaaa!!!」に合わせた「わー!!!」と感動してもらえる装飾で構内を華やかに飾りました。

地域に愛される淑楓祭をめざして



毎年人気の子ども広場

注目は若手モデル兼俳優で注目されている千葉雄大さんによるトークショーを行いました。千葉雄大さんの淑楓祭でしか見られない笑顔や聞き手を夢中にさせるお話をしていただき、お客様にとっても満足していただきました。

メイン企画であるお化け屋敷ではお客様の声、宝さがしでは宝が見つかった時の喜びの声が止むことなく、お客様にはそれぞれのコンセプトに沿った企画を心ゆくまで楽しんでいただきました。また、サブ企画として子どもも広場を開催しました。地域のたくさんのご家族に来ていただき「親子でも楽しめる大学祭だ



参加団体が掲げてくれた沢山の「Waaaaa!!!」

第38回淑楓祭を創るにあたってご協力くださった関係者の皆様、地域の皆様、団体の皆様、お客様に対して、実行委員会一同より感謝申し上げます。

淑楓祭が星ヶ丘という住宅街の中で開催できるのは、近隣住民の方々のご理解ご協力のおかげです。その感謝の気持ちを込めて月に1回の清掃活動、淑楓祭前後1週間の清掃週間、挨拶回り、小学校との合同企画などをさせていただきました。より地域に愛される淑楓祭に少しずつではありますが成長できたと実感しております。

ステージでは後夜祭の最後を彩るレーザーショーを今年度からフルカラーにしました。幻想的なレーザーショーをご覧になったお客様から例年以上の大きな歓声をいただき、大盛況でエンディングを迎えることができました。



今年も盛況だった後夜祭



華やかに彩られたエントランス



来場者を迎える巨大な階段装飾



学生たちの活気あふれる模擬店



サトウキビ採って、これから黒糖にします!



与那覇さん、ありがとうございます



証言集に目をこらします



今年からホテルも新しくなりました

中学校 沖縄:研修旅行 11/6(水)~9(土)



沖縄の海は最高でした

シーサー顔で「はい、チーズ」

沖縄で私たちが考えた
 中学3年生が一番楽しみにしているのがこの沖縄研修旅行です。みんなが沖縄を大好きになつて帰ってきます。今年も国語科や社会科での事前学習にクラス独自のしおりづくり、沖縄に関する知識を競う「ちゃんぷるークイズ大会」そしてクラス単位の平和宣言文づくりと例年にもまして意欲的に準備を進めてきました。
 沖縄は意外に晴天率が低くて雨にたたられることもありまが、今年は4日間とも天候に恵まれて沖縄らしい空や海の色が皆の思い出に刻まれたようです。
 いくら事前学習をしていても元ひめゆり学徒隊の与那覇百子さんの平和祈念講話はやはり衝撃的でした。うつむいて目を閉じたり、すすり泣く声があちこちから聞こえてきました。同年代の女子学生たちのあまりに悲惨な体験を自分自身に重ね合わせると、あたりまえ

に見える日常がいかにもありがたいためかということに気づかされず。そして自分を取り巻く家族や仲間への感謝の気持ちが自然にわいてくるようです。沖縄戦から68年の歳月が流れ、証言員の年齢も80代半ばにさしかかっています。戦争の記憶はどのように受け継いでいくのか...と心配になります。
 その後の平和の礎や資料館の見学もみんな真剣です。糸数壕、轟壕、又又マガマに分かれてのガマ体験では研修旅行委員が準備してきた平和宣言を読み上げ、一人ひとりが平和への決意を新たにしました。

CAMPUS

キャンパス

20

高2修学旅行

高校2年生278人は4泊5日で、北九州を中心に修学旅行に行ってきました。調べ学習を重ねてきた吉野ヶ里、長崎、雲仙、熊本、柳川、阿蘇、九州国立博物館、大宰府の地へ実際に歩き、学んだことを深めてきました。吉野ヶ里では日本史の教科書に載っている写真の实物を目のあたりにして感動しました。阿蘇ではガスの流れのため、火口が見られた班と火口へ行くまでのロープウェイにも乗れない班がありました。これも含めて自然の雄大さと厳しさを感じました。雲仙では自然の脅威を学ぶことができました。現在では何も残っていない原城址に自分の足で立ち、壮絶な時代背景に思いを馳せました。長崎での被爆体験者の講話は「生きる勇氣」と「死ぬ勇氣」という言葉に心を揺さぶられました。被爆体験談を真摯に受け止め、平和な世界を築く為に私たちにどんな努力が必要なのかを考えさせられました。大雨の爆心地公園では、肅々と慰霊祭を行うことが出来ました。その翌日は1日を使って、長崎の歴史、宗教、優しさに触れる班別研修を行います。

五感を使つての学びの場となりました。また、非日常での集団行動を通して、時間厳守などのルールの必要性にも気づきがありました。たくさん学ばざるを得なかった修学旅行でした。「行く前はウキウキワクワクで、修学旅行の楽しみの部分だけを楽しみにしていたと思います。しかし、いざ家に帰って来て母に話していると、なぜか楽しかった思い出よりも平和学習の思い出ばかり話している自分に気づきます。今まで原爆の悲惨さに触れたことのない私は福島の原発についても、便利ならそれでいいじゃん」と思っていた自分を恥ずかしく思います(生徒感想より)



見上げるほど高い、吉野ヶ里遺跡の物見櫓



城下町のお堀をめぐる柳川の川下り

高等学校 九州修学旅行 10/21(月)~25(金)



戦争体験の講話も



セレモニーで平和への祈りを



自然の雄大さと厳しさを体験